



arts in hearts
TOYOTA

第1736回

トヨタコミュニティコンサート
TOYOTA COMMUNITY CONCERT

創立50周年記念 札幌フィルハーモニー管弦楽団 第63回定期演奏会

オールドヴォルザークプログラム

・「チェコ組曲 ニ長調」より

1. 前奏曲
2. ポルカ
5. フィナーレ(フリアント)

・チェロ協奏曲 ロ短調

・交響曲第8番 ト長調

■ 2021年 **10月31日** [日]
14:00開演 (13:30開場)

■ カナモトホール(札幌市民ホール)

札幌市中央区北1条西1丁目 ☎011-252-3700
アクセス / 地下鉄東西線大通駅・南北線大通駅・東豊線大通駅にて下車、
31番出口正面

■ 入場料 前売・当日**1,500円**(全席自由)

札幌市民交流プラザチケットセンター ☎0570-00-3871
ローソンチケット Lコード:12295



【指揮】
松井 慶太

【チェロ独奏】

金木 博幸

(東京フィルハーモニー
交響楽団首席奏者)



©Yuki Ohara

【主催】札幌フィルハーモニー管弦楽団 【共催】トヨタ自動車株式会社
【協賛】札幌地区トヨタ販売会社グループ 【協力】公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟
【後援】札幌市、札幌市教育委員会、読売新聞北海道支社、朝日新聞北海道支社、北海道新聞社、毎日新聞社北海道支社(順不同)
【問合せ先】札幌フィルハーモニー管弦楽団事務局 伊東(080-3237-2595)

感染予防ご協力をお願い

札幌フィルでは、新型コロナウイルス感染予防の観点から取り組みを行い、コンサートを開催いたします。
つきましては、ご不便をおかけいたしますが、ご観覧の皆様にも以下のご理解ご協力をお願いいたします。

●発熱や咳きこみなどの症状がある場合は、入場をご遠慮願います。●万が一感染が発生した場合のご連絡先として、チケット半券裏・招待状へ、ご連絡先電話番号とお名前の記載をお願いいたします。●ホール内ではマスクの着用をお願いいたします。●手洗い、手指のアルコール消毒をお願いいたします。●周囲の方との距離をおとりくださるようお願いいたします。●ゴミについてはお持ち帰りをお願いいたします。また、出演者への面会、お届け物はご遠慮ください。

トヨタは“いい町・いい社会”づくりをめざし、アマチュアオーケストラ活動を1981年から応援しています。

トヨタコミュニティコンサートの情報はインターネットでより詳しくご覧いただけます。 www.toyota.co.jp/mecenat/tcc/



創立50周年の締めくくりは、ドヴォルザーク！

札幌フィル生誕(1971年1月)から50年の今年。5月のコロナ禍での感動的なhitaruコンサートに続いて、秋の定期は、皆さまおなじみのドヴォルザークの作品をお届けいたします。

そして名曲チェロ協奏曲ロ短調のソリストには、誕生間もない札幌フィルで演奏されていた、現在東フィル首席奏者の金木博幸氏をお迎えします。さらに同時期すでに札幌フィルヴァイオリン奏者として活躍され、現在札幌フィル弦トレーナーの横井慎吾氏(元札幌響)をゲストコンサートマスターにお招きいたします。

札幌フィル2回目となる松井慶太氏の指揮のもと、アニバーサリーにふさわしい演奏会をお楽しみください。

【指揮】 松井 慶太

1984年青森県八戸市生まれ。3歳よりピアノ、16歳のときピアニストとしてポーランド国立クラクフ交響楽団と共演。2007年、東京音楽大学指揮科卒業。指揮を広上淳一、汐澤安彦、ピアノを故島田玲子、宮原節子、オーボエを安原理喜、音楽理論を久田典子に師事。2006年、韓国で行われたアジア・フィルハーモニック・オーケストラにて指揮をチョン・ミョンフンに師事。

2009年、第15回東京国際音楽コンクール入賞・奨励賞受賞。

これまでに、ライプツィヒ交響楽団、プラハ交響楽団室内オーケストラ、ドナウ交響楽団、東京シティ・フィル、日フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪響、九響、京響、群響、セントラル愛知響、仙フィル、名フィル、山響、東京室内歌劇場等を指揮、さらに2020年には札幌交響楽団を指揮している。札幌フィルを指揮するのは、2019年第60回定期に続き2回目となる。

【チェロ独奏】 金木 博幸 (東京フィルハーモニー交響楽団首席チェリスト)

札幌生まれ。1979年桐朋学園高校音楽科卒業。同年、日本音楽コンクール第2位入賞。翌年、東京国際音楽コンクール第1位入賞。齋藤秀雄賞受賞。上原与四郎氏、青木十良氏に師事。81年に渡独。ティボー・ヴァルガ氏との二重協奏曲共演で好評を博す。84年北西ドイツ音楽大学首席卒業。ウィーン・フィル首席チェリスト：エマヌエル・ブラベツ教授のもとで3年間研鑽を積む。室内楽をバリリ弦楽四重奏団、アマデウス弦楽四重奏団に師事。ダニエル・シャフラン教授、ミラノ・スカラ座首席チェリスト：アントニオ・ポカテラ教授にも師事。シュトゥットガルト国際チェロコンクール最高位入賞。スイス南部ルガーノ放送響メンバーとして活動。91年東京フィルハーモニー交響楽団首席チェリストに就任。東京フィル、東京シティ・フィル、札幌交響楽団等と協奏曲を共演。オーケストラプレーヤーとしての活動に加え、各地でのリサイタル等、ソリスト、室内楽奏者としても多彩な活動を展開し高い評価を得ている。なお、札幌フィルとは2018年に共演している。

【演奏】 札幌フィルハーモニー管弦楽団

昭和46年(1971年)1月に創立され、本年創立50周年をむかえた、札幌で最も歴史のあるアマチュア市民オーケストラ。第1回定期演奏会は、昭和47年5月27日、今回の演奏会場である札幌市民ホール(前身・旧札幌市民会館)にて開催された。

定期演奏会では、交響曲を中心に、協奏曲にもとりくみ、多くの著名な演奏家と共演しており、近年は海外の音楽家とも共演している。また、親しみやすい名曲を集めた「ファミリーコンサート」や市内小学校での「音楽教室」さらには施設や病院への訪問コンサートなども多数開催している。

また、札幌以外では、新十津川町、北広島市、清水町、浦河町、長沼町、岩内町など道内各地で演奏会を開催、地元の皆様に生(なま)のオーケストラ演奏をお届けしている。

現在、団員は68名。札幌響団員をはじめとする諸先生方のご指導もいただきながら、ともに音楽を楽しみたいという気持ちでひとつになり毎週土曜夜に練習をおこなっている。

札幌フィル団員募集中！

一緒にオーケストラで演奏しませんか？

現在札幌フィルでは弦楽器奏者を募集中です。基本的に、大学オケ程度の経験があれば大丈夫です。練習は原則毎週土曜日18時からです。見学だけでもお気軽にどうぞ。

【お問い合わせ：ホームページまたは、事務局・伊東(080-3237-2595)まで】